

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学衛生学・予防医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年7月 福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座 各務竹康

【研究課題名】アレルギー皮膚疾患における病識と治療意欲に関する調査

【研究期間】2020年7月～2022年9月

【研究の意義・目的】

皮膚疾患で特に慢性に経過する病気（アトピー性皮膚炎、慢性特発性蕁麻疹、慢性刺激誘発性蕁麻疹）は自身の疾患に対する認識（病識）により、治療への態度が変化することを経験します。病識とは単一なものではなく、「重なり合うが互いに独立した複数の次元からなる現象」と考えられ、その評価は精神疾患では測定尺度が存在しますが、アレルギー疾患に関しては未だ統一されたものではありません。そこで、共同研究者で考えた、病識や治療困難感に関する質問を解析することにより、治療意欲低下がなににより生じているかを明らかにいたします。

【研究の対象となる方】

2020年6月から2021年10月の間に島根大学医学部附属病院及びこの研究に参加する医療機関でアトピー性皮膚炎、慢性特発性蕁麻疹、慢性刺激誘発性蕁麻疹と診断された患者さんです。

【研究の方法】

島根大学医学部附属病院皮膚科および研究協力施設にてアトピー性皮膚炎、慢性特発性蕁麻疹、慢性刺激誘発性蕁麻疹と診断されて治療をうけられた患者さんに受診時に紙、もしくはタブレット端末を用いて調査票を提示し、アンケート調査を行います。また、担当医は疾患の重症度を Physicians Global Assessment: (PGA: 臨床医の総合評価で0-3点をつける, 0点はほぼ寛解している状態) により評価します。また、同様の情報をこの研究に参加する国内の医療機関からも島根大学に集めます。

島根大学にて収集解析する調査票の項目には氏名、生年月日など個人を特定できる情報は記入せず、各医療機関が割り振った研究用の症例番号で識別します。アンケート調査のため、集積した調査票を元の患者さんと紐付けできません。

福島県立医科大学においては、島根大学より受け取った匿名化データの分析を行います。アレルギー皮膚疾患(アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、他)患者の疾患別の病識、治療困難感、治療内容別の病識、治療困難感の関連について多角的に分析を行い、得られた結果の一部について、学会、論文等で発表を行います。

【研究組織】

(所属) 衛生学・予防医学講座 (職) 准教授 (氏名) 各務竹康

参加研究機関

【研究機関】

島根大学医学部皮膚科学教室(研究代表機関) / 益田赤十字病院
九州大学医学部皮膚科学教室
札幌医科大学皮膚科 / すみかわ皮膚科アレルギークリニック
京都府立医科大学皮膚科
神戸大学皮膚科

【研究責任者】

金子栄
中原剛士
澄川靖之
益田浩司
福永 淳

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座 担当 各務竹康

電話:024-547-1174 FAX: 024-547-1174

E-mail:bamboo@fmu.ac.jp